

白岡の梨栽培の始まり

明治17年に久喜市出身の五十嵐八五郎さんが群馬県及び千葉県から梨の栽培技術を勉強し、白岡市内の親類縁者に教えたことから広まりました。その後、明治43年8月に大洪水に襲われたとき、他の作物は壊滅状態であったのに対して、日本梨は棚かけをしていたため被害を受けることがなく、船に乗って収穫できたことから、梨の栽培が普及するようになりました。

また、当時の日本梨農家は収入が多かったため、昭和5年の昭和恐慌により、生糸の価格が暴落したことなどから、多くの農家が養蚕業から梨栽培に転向しました。養蚕を行っていた農家の桑畑が梨畑に変わっていき、日本梨の産地になりました。



▲昭和12年の梨の協同出荷の様子



▲昭和12年の梨棚協同架設の様子

今年も梨の季節がやってきました

白岡市では有名な幸水をはじめ、豊水、彩玉、新高、新興、あきづき、新雪といった梨が栽培されています。

幸水

甘さの中に程よい酸味があり、果汁も豊富。味わいは良好で、その味と質の良さから長年高い人気を得ている梨です。

豊水

果肉は、果汁を多く含み、非常に甘みが高くなる傾向があります。また、やさしい酸味も伴い、濃厚な味わいとなります。

彩玉

果汁が豊富で、味が濃厚であり、幸水以上に糖度が高く酸味が弱いため、甘さをしっかりと感じられます。埼玉県育成品種のため、生産は埼玉県内限定です。

新高

香りの良さと上品な甘さに加え、酸味は弱めで、果肉は、やわらかく果汁は多めとなっています。大きなもので1kg近くの大きさにもなります。

新興

果肉は、シャキシャキとした食感で比較的緻密。果汁が豊富で、程よい甘みとさわやかな酸味が調和しています。

あきづき

果実の大きさは、500g以上となり、果肉はやわらかく緻密です。また、幸水、豊水に比べて酸味が少なく、代わりに甘さを強く感じられます。

新雪

果肉は梨独特のみずみずしく、シャリシャリとした歯ざわりです。収穫後一定期間置かれた果肉は、あっさりした味わいです。



なしりん

どれも
おいしそうだね！
みんなの好きな梨は
どれかなあ〜♪



なしべえ

品種ごとの旬の時期(目安)

	7月		8月		9月		10月		11月		12月		
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
こうすい 幸水	→												
ほうすい 豊水			→										
にいたか 新高							→						
しんこう 新興								→					
さいぎよく 彩玉			→										
あきづき					→								
しんせつ 新雪												→	

※天候などにより時期の前後があります。

上段の品種と比較すると
生産量が少なめ

「白岡美人」をご存じですか？



しらおか仮面

「白岡美人」は、市の特産品の一つである梨の愛称です。

一度食べれば、その味に魅了され、毎年梨の時期が楽しみになること間違いなし！

市では、より多くのかたに「白岡美人」をPRするため、ロゴマークがデザインされた贈答用の箱や小売り用の袋を作成しました。

また、梨の時期に市内に掲示するのぼり旗の作成を進めています。

今年の夏、白岡美人のファンの皆さんも、はじめて手に取る皆さんも、その味や食感だけでなく、ロゴマークにも注目してください。

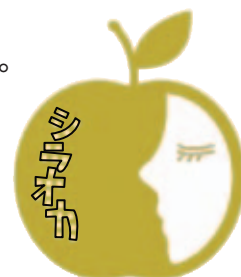


白岡美人
SHIROOKA BIJIN

ロゴマークのヒ・ミ・ツ

梨のザラザラ感を表現したマークの丸ポツ。よく見ると、浮かんできませんか。

「しらおか」の文字。見えませんか？



しらおか産の梨はしらおか味彩センターで販売しています

アクセスマップ



しらおか味彩センター



白岡市千駄野398番地 ☎ 0480(93)9800

※8月は23日(月)・30日(月)以外毎日営業します！

毎週月曜日が定休